

一関市地域おこし協力隊 募集要項 項目について

タイトル

顔の見える経済循環を創り出す農産物流通プロデューサー

【1】募集概要について

1-1 募集人数

1名

1-2 雇用関係の有無

市との業務委託契約

1-3 給与・賃金等

月額266,666円（税金、保険料などは自己負担になります。）

※上記の報酬に加え、活動に要した経費について1月あたり166,666円

1-4 勤務時間

- ・原則、週25時間をめどに活動いただきます。（指定時間以外に勤務した場合、割振り変更により調整）
- ・月の休日日数：カレンダーの土日祝日日数と同日数（土日祝日活動の場合は平日に取得）
- ・年末年始、休日はイベントがない限り、活動はありません。

1-5 求めている人材について

農産物に興味があり、産直や道の駅巡りなどが好きな方
生産者と飲食店のつなぎ役として、農家の課題を解決したい方
様々な人と関わることが好きで、相手の話を聞いて一緒に活動できる方
流通や経済に興味がある方（基礎的な知識がある方は歓迎）
地域で何かチャレンジしてみたい方

【1】募集の背景について

2-1 活動地域の紹介

岩手県の南端に位置する一関市は人口約11万人、面積は1,256平方キロメートルで、香川県の2/3にあたる広大な地域です。東北地方のほぼ中心に位置し、仙台市と盛岡市の中間にあることから、古くから交通の要衝として栄えてきたこともあり、アクセスが良く、首都圏からは新幹線での日帰りが可能なエリアです。

四季折々の自然の恵みと地域特性を生かした農産物が豊富で、美しい霜降りと豊かな風味に優れた「いわて南牛」、10年かけて開発した良食味米「金色の風」、トマト、ナス、きゅうり、ピーマンなどの夏秋野菜やりんご、小菊などの生産が盛んです。市町村別の農業産出額では東北で第2位の農業が盛んな地域です。道の駅は市内3施設（ほか建設中1施設）あり、産直、商業施設、温泉、観光資源も豊富です。また、工業団地が集積し、中東北の産業、経済、教育、文化の拠点都市です。

2-2 協力隊募集の経緯や背景について

生産者の高齢化や担い手不足により、道の駅や産直等へ新鮮な地元農産物の供給力の低下が懸念されてきています。道の駅や産直等では、地元農産物の減少は経営への影響、顧客サービスの低下につながる恐れもあり、品目により品薄な時期や冬期間は仕入れ等に頼らざるを得ない状況の施設も出始めています。

道の駅や産直に求める顧客ニーズと、生産者の栽培品目や出荷量など需要に応じた供給バランスを保つことが必要です。これらの課題を解決し、地場農産物のさらなる普及促進を図り、安定した供給体制の構築を図るとともに、生産と流通を強化する仕組みをプロデュースする地域おこし協力隊を募集するものです。

【3】 募集業務について

3-1 仕事の中身について

(3-1-1)基本業務

<①仕事概要>

道の駅等の産直事業者に対する地元農産物の供給状況と、生産者や来客等に対する調査を行い、流通における課題やボトルネックを洗い出し、地域内経済循環の促進と流通を強化する実証実験を実施します。また、農産物のブランド化と高付加価値を図り、首都圏等への販路拡大を目指して地産外商のビジネスモデルを構築する地域商社の機能を検討します。

<②業務詳細>

- ①コンパクト流通の仕組みづくり・・・農産物の安定供給機能を構築するための実証実験
 - ・道の駅（厳美溪等）や産直（新鮮館おおまち）での流通や供給体制に関するヒアリング調査
 - ・市内産農産物の安定供給の構築に向けた取組
 - ・飲食店等が求める農産物（品目、量、時期）のヒアリング調査と、農産物の流通経路の見える化
 - ・市内学校給食（西部学校給食センター・西部第二学校給食センター）への食材供給体制の検討（地元農産物の需要と供給の把握、関係会議等へのオブザーバー参加）
- ②地産外商ビジネスモデルの検討・実証・・・首都圏等の販路拡大に向けた農産物のプロモーション活動

<③1日のスケジュール（例）>

- 8:30 出勤 朝礼
- 9:00 産直等への訪問、ヒアリング調査・実証実験
- 12:00 昼休憩（60分）
- 13:00 産直等への訪問、ヒアリング調査・実証実験
- 16:00 訪問記録作成、情報発信業務
- 17:15 退勤

※あくまで一例です。活動時間は採用後に関係者と打ち合わせをして調整する。

<④週間のスケジュール（例）>

例として・・・

月曜日・・・ミーティング、週間予定の共有、産直（新鮮館おおまち）等へ訪問

火曜日・・・道の駅敵美溪（月2回）、産直・生産者等の訪問

水曜日・・・産直・生産者等の訪問

木曜日・・・産直・生産者等の訪問

金曜日・・・休日

土曜日・・・休日（場合により、イベント従事。振替対応）

日曜日・・・休日（場合により、イベント従事。振替対応）

※訪問先及び回数は採用後に関係者と打ち合わせをして調整する。

(3-1-2) 発展業務

<①仕事概要>

・農産物を活用した6次産業化による商品開発、首都圏等の飲食店やバイヤー等を招聘し生産者ツアーの企画、市内農産物の海外進出の検討など

(3-1-3) 3年間のスケジュール

<①1年目>

- ・生産者の情報収集、流通経路を調査し、産直等の供給体制を把握する。
- ・地域資源の掘り起こし、市内事業者や生産者の商流調査（取引の流れ）、ニーズ調査など各種の情報収集
- ・地産外商事業への参加
- ・道の駅連絡会議、学校給食食材供給連絡協議会など会議へオブザーバー参加（市生産流通課に同席）

<②2年目>

- ・地産地消の流通強化を図るため関係団体と連携して実証実験を行う。
- ・地域の強みに繋がる、経営資源の「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」の連携プラットフォームづくり
- ・首都圏等への農産物の販路拡大に繋がるビジネスモデルを検討する。

<③3年目>

- ・実証実験をもとに、地元農産物の供給体制モデルの仕組みをつくる。
- ・首都圏等への農産物の販路拡大に繋がるビジネスモデルを構築し、実証実験を行う。

3-1-4) その他の業務

・地域おこし協力隊として必須の日報や月報、報告書等の業務があります。
また、必要な研修の受講など協力隊として必要な業務を行います。

3-2 3年後について

農産物を安定供給できる流通の仕組み（地域商社の機能）の構築を目指し、起業を想定した活動や既存の産直等組織に機能を追加するなど、関係者と連携し、地域内経済循環と首都圏等への販路拡大ビジネスモデルを作り上げていくことで、農業分野と連携した産業振興に携わる可能性のあるキャリアとなります。

3-3 業務で関わる方・団体等の紹介について

・合同会社いちベジ山崎代表：R3～5年度地域おこし協力隊として西洋野菜の産地化や販路拡大等に取り組んだ後に起業。実証実験を連携して実施することが期待される。
・産直おおまち梁川店長：一ノ関駅に近い大町商店街にある、街なか産直施設。生産者と消費者の交流や若手農業者の発掘、集客イベントなど日々奮闘されている。趣味は野球、ランニングなど。
・道の駅各駅長（厳美溪、かわさき、むろね、大東：R7～）、産直の供給体制や生産者の声を聞く。
・市役所生産流通課 地産地消・外商係：地産地消・外商事業、一関の農産物PR、いちのせき農産物アンバサダー、地ビールフェス等関連イベントでのPR、関係会議（道の駅連絡会議、給食センター食材供給産直連絡協議会等）の担当課

3-5 住む場所について

・一関の市街地に近いエリアで住居探しのお手伝いや情報提供をします。
・契約や引っ越し等のご自身でお願いします。
(スーパーやコンビニ、間取りなど、周辺的环境について、オンライン説明会やオンライン相談を開催しておりますので確認願います。採用決定後に担当者へご相談ください。)

3-6 アクセス（交通手段など）について

・盛岡と仙台の中間に位置し、東京から一関までは、新幹線で最約2時間、高速道路の一関ICがあり、交通の要衝として便利な立地となっています。
・仙台へのアクセスは東北新幹線で約20分、直通の高速バスは1時間ごとに1本往復、片道約1時間30分となっています。
・東北各地や近隣市外には高速道路や新幹線などを使い、すぐ移動できますが、市内の移動は自家用車が必須となります。

【4】 募集詳細

4-1 募集対象

(4-1-1)応募条件(必須)

- (1) 総務省地域おこし協力隊の地域要件に該当する方
(3大都市圏の都市地域、政令指定都市等(過疎、山村、離島、半島等に該当しない市町村)から転出し、任期中は一関市に居住及び住民票の異動ができること)
※該当するか不明な方は事前に気軽にお問い合わせください。
- (2) 普通自動車運転免許を取得している方 (※着任までに取得予定の方も含む)
- (3) 心身ともに健康で誠実に取り組むことができる方
- (4) 地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当しない方

(4-1-2)求められるスキル・経験

人の話を最後まで聞けること
エクセル、ワードが最低限使えること (月報等の入力業務、リスト作成)
初対面や年齢を問わず、コミュニケーションが取れる方 (地域の関係団体と連携が必要)
写真撮影やSNS等による情報発信に慣れていること
業務内容の報告・連絡・相談ができ、実践できること

(4-1-3)歓迎するスキル・経験

※下記は必須ではありませんが、いずれか1つ以上持っている方は、選考での加点要素になる場合があります。
苦情や苦言にも円滑に対応できる経験があること
企画提案書などパワーポイントで作った経験がある方、プレゼンの経験がある方
営業、接客、飲食業、バイヤー等の経験者

4-2 勤務地

一関市 (生産流通課) の指示のもと、活動します。(週1回は市役所に出勤、他は自由)

4-3 採用形態・期間

- ・ 個人事業主として市と業務委託契約 (雇用関係なし)
- ・ 1年更新、最長3年

4-4 待遇・福利厚生

【保険】国民健康保険、国民年金にご自身で加入いただきます。

【住居】家賃は自己負担となります。（活動地域に近いエリアでアパートまたは空き家などご紹介できますので、採用決定後に担当者へご相談ください。）

【車両】自家用車をお持ちの場合は、業務用車両として使用する場合があります。車両を所有していない場合、業務に使用する車両として、車両を活動費からリース予定。（契約等にご相談ください）

【補助金】起業するための経費

（※任期1年終了後から、任期終了後1年までの間に事前に相談することで使用可能です。）

4-5 副業

協力隊活動に支障をきたさない程度で副業は可能です。副業をしたい場合は担当課に事前に相談してください。

【5】応募手続きと選考の流れ

5-1 提出書類

次の2点の書類が必要です。

①履歴書

②自己PR書類（A4両面の任意様式。ワード、パワーポイント、その他のソフト等を使用して作成のこと。写真やグラフ等の使用も可）

5-2 提出先

メールまたは郵送により下記あてに送付してください。

一関市農林部生産流通課 地産地消・外商係 担当：小野寺嘉奈

〒021-8501 岩手県一関市竹山町7-2 電話0191-21-8317、fax0191-21-4221

mail：kanao@city.ichinoseki.iwate.jp

※担当者より、提出確認後3日以内に受付確認のメールまたは電話をいたします。

5-3 申込受付期間

令和6年9月30日までの期間で、7月以降毎月末日を応募締め切りとし、採用が決まり次第終了となります。

5-4 募集締め切り

第1次締め切り令和6年7月31日

第2次締め切り令和6年8月31日

第3次締め切り令和6年9月30日

5-5 選考の流れ

1次選考：書類選考（書類の正式受理後、1週間後をめぐり先行を行います）

↓

2次選考：現地面接（応募者と日程調整し、書類選考後2週間以内をめぐりに行います）

↓

選考結果通知（現地面接後、1週間以内をめぐりに通知します）

【6】その他

6-1 募集に関する相談先

（1）募集に関する質問は、下記にメールをお願いいたします。

（2）一関の地域のことを実際に知っていただく事も重要であるため、可能であれば地域おこし協力隊インターン制度もしくは地域おこし協力隊現地見学等を活用して一関市にお越しいただく事をおすすめいたします。

詳しくは下記の窓口までご連絡ください。

一関市地域おこし協力隊募集業務受託事業者

一般社団法人いわて圏

TEL：080-9635-4751

E-mail：kyouryokutai.ichinoseki@gmail.com

窓口対応可能時間 平日10時～18時